ジャパンテックスセミナーレポート









過日2009年.11.11~13にジャパンテックスが開催されました。 TDAでは、セミナー、図案販売、アビコメ展示、 年表制作などで参加しました。 ここでは、セミナーについて報告させて頂きます。

もっと知りたい!インテリアファブリックス 「インテリアファブリックスをより理解する為の3Daysセミナー」 として以下の通り、3日間に渡り年表に連動した構成で開催されました。

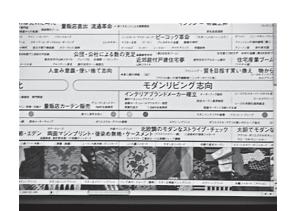
第1日 「JAPANインテリアファブリックスの変遷」 今野 文雄氏 第2日 「やさしく解説! インテリアファブリックスのマーケットの概要」

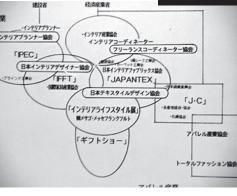
杉山 哲三氏 第3日 「話し合おう! これからのインテリアファブリックス」

寺井 洋介氏、鈴木 洋行氏

連日定員の50名近い方に参加して頂きました。アンケートにより今後のセミ ナーのリクエストなども多くのご意見を頂きましたので、今後のセミナー構 成に役立てて行きたいと思います。

レポート/大場 麻美・





福井恵子氏のセミナー「布の力・フラッグアート」



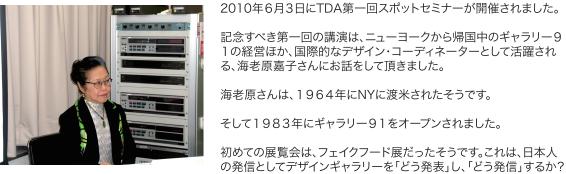
NO-REN展の会期中である7月10日(土)13:30~15:00 に、近江商人屋敷の五個荘金堂まちなみ保存交流館でフラッ グアーティストの福井恵子氏のセミナー「布の力・フラッグア ート」を行いました。 35度の猛暑の中、会場の都合により定員を30名とさせてい

ただいておりましたが定員を越える方々にお越しいただき、ま さに熱気ムンムンのセミナーとなりました。 スライドの画面では、風に吹かれたフラッグアートが、人々を 元気づける象徴としての形として街に掲げられている画像や、 人間讃歌・自然讃歌の旗がアートとして屋外にインスタレー

ションされている画像を観る事ができました。 まさに「布の持つ力」を具現化し、フラッグアートを通して、障 害者とのコミュニケーションを目的とした活動や、自然環境保 全のための活動、阪神大震災後の援助活動などに積極的に 取り組まれている福井先生に、大いに刺激を受けることので きたセミナーでした。

西日本理事 大高 亨

TDA第一回スポットセミナー/海老原嘉子氏セミナー



記念すべき第一回の講演は、ニューヨークから帰国中のギャラリー9 1の経営ほか、国際的なデザイン・コーディネーターとして活躍され る、海老原嘉子さんにお話をして頂きました。

海老原さんは、1964年にNYに渡米されたそうです。

そして1983年にギャラリー91をオープンされました。

初めての展覧会は、フェイクフード展だったそうです。これは、日本人 の発信としてデザインギャラリーを「どう発表」し、「どう発信」するか? また「どうプレスに売り込める」のか?一つの掛けだったそうです。

みごとNYタイムスに大きく取り上げられ、大成功だったとの事。イン ビレーションカードの中に米粒を同封し、音がする事で開封して貰え る仕掛けも行われたそうです。

海老原さんの「時代を見る目」と、その「情報の捉え方の鋭さと具現化 の的確さ」のお話を、興味深く拝聴させて頂きました。

その他に、美術館や展示会構成、アートフェアの監修など、アートを ビジネスに直結させるお仕事の数々を紹介して頂きました。

成功させる為のポイントとしては、可能性(オリジナリティー)・ターゲ ット・価格・ネーミング・パッケージなどをしっかりと組み立てる事の 大切さを具体的な事例と、サンプル含めお話し頂きました。

海老原さんのお話をお伺いし、一番記憶に残った言葉は、NYのハイ ラインを例に「人が集まる所に新しいウェーブが起きる事。」と言うも のでした。

そこに「周到な情報によって仕掛けをする事」その情報を得る為には 勿論、「人とのコミュニケーションと繋がり」が大切であり、その為に 地道な努力をされている事が, 良く分かりました。